

徳田の歴史-5

鎮神さん

1/1



徳田東地区で昔から“鎮神さん”と呼ばれている小高い森があります。

鎮神さんは災難や争い事を鎮め田畑等を守ってくれる神様です。

森の大きさは約6m四方で高さは1m位です。(塚のように見えます)

現在この森の中には神様が祀られていたと思われる跡地を示す目印の小さい石が置いてあります。

昭和の初め頃、森はもっと広く中には小さな社^{ヤシロ}があつて付近で子供達がよく遊んでいたとの話を聞いたことがあります。

又“鎮神さん”横の小道は通称“鎮神さん道”と現在も呼ばれ、堀切川に向かって延びる農道(写真上方へ)、長さ約600m、幅1.9mがありこの道をも利用し農作業やお参り等に活用されていたと思われます。

●地区年配者の話より

正確な記録はないが、かなり昔からこの“鎮神さん”周辺には広範囲に森が広がっていたのではないか。この地区の人達は神事等の際は“鎮神さん道”を利用し森に入り“鎮神さん”に参詣したのではないか。

又皆が憩いの場所に使っていたのではないか……この様な話もありました。

●その他

※“鎮神さん”はいつ頃出来たかの記録はありません。

(かなり昔よりこの場所に建っていたようです)

※“鎮神さん”の近くに今でも“八雲神社跡地”の碑があり関連があったようです。

※“鎮神さん”や“鎮神さん道”はこのような時代に住民同志をつなぐ役割を十分に果たしていたのではないかと思います。

H,A